

2013年度報告の総括と次年度の目標

【環境目標と実績】

» Plan

		2013年度目標
CO ₂ 排出削減	主な活動テーマ	
	居住時CO ₂ 排出削減	戸建住宅における太陽光発電システム搭載率80%
		戸建住宅における燃料電池搭載率60%
		戸建住宅における「グリーンファースト ゼロ」比率50%
	事業活動、生産時のCO ₂ 排出削減	リフォームでの取り組み 開口部の断熱リフォーム面積5万2000m ² 、高効率給湯器の設置棟数4200棟、太陽光発電システム設置棟数6100棟、省エネバスリフォーム4000セット、積水ハウスリフォーム(株)の取り組み
		新規販売建売分譲住宅における環境共生住宅割合100%
賃貸住宅「シャームゼン」における太陽光発電システム設置率60%		
生態系保全	出荷m ² 当たりのCO ₂ 排出量を ・生産にかかわるCO ₂ ^{*1} … 2012年度比1.0%削減 ・輸送にかかわるCO ₂ ^{*2} … 2012年度比3.0%削減 ※1 新設の陶版外壁「ベルバーン」製造ラインは除く ※2 出荷関連の輸送を対象とする	
	低燃費車率95% 低排出ガス車率98%	
	材料調達時の生態系への配慮	
資源循環	「木材調達ガイドライン」におけるS・Aランク木材比率95%	
	森林認証取得について、継続検討。請負事業として「FSC部分プロジェクト認証」に着手	
	住宅の植栽を通じた生態系保全	
その他	年間植栽本数110万本	
	新規販売建売分譲住宅すべてで「5本の樹」計画樹種を植栽	
	生産・施工時の資源循環	
その他	出荷m ² 当たりの工場生産時廃棄物量を2012年度比2.2%削減 新設の陶版外壁「ベルバーン」製造ラインは除く	
	より合理的で確実な廃棄物管理業務を行う体制を、IT技術の活用で継続検討	
	新築施工現場における廃棄物発生量(1棟当たり/145m ² 換算):目安1200kg	
その他	事務作業時の資源循環	
	グリーン購入率95%	
	化学物質の管理	
その他	鉄骨系主力商品での空気環境配慮仕様「エアキス」の一層の普及、賃貸住宅「シャームゼン」での普及推進	
	従業員による環境行動	
		夏季・冬季を中心に節電の取り組みを継続

WEB 目標と実績の詳細はWEBに開示しています。

Do

Check

Action

2013年度の活動内容

参照
ページ 評価

2014年度目標

太陽光発電システム搭載戸建住宅75% 目標にはわずかに届かなかったが、2012年度とほぼ同様だった	P.52	○	搭載率80%を目指す
燃料電池搭載住宅58% 目標にはわずかに届かなかったが、搭載棟数は前期を1000棟上回る9100棟となった	P.52	○	搭載率60%を目指す
47.9% 目標にはわずかに届かなかったが、11月以降はほぼ60%となった	P.20 P.51	○	「グリーンファースト ゼロ」60%を目指す
開口部の断熱リフォーム面積4万2278m ² 、高効率給湯器の設置棟数4397棟、太陽光発電システム設置棟数3634棟、省エネバスリフォーム4658セット 省エネバスリフォームは目標を達成したが、他は目標を達成できなかった	P.54	△	開口部の断熱リフォーム 5万1000m ² 、高効率給湯器リフォーム 5200棟、太陽光発電システムリフォーム 4000棟、省エネバスリフォーム 5000セット
建売分譲住宅における環境共生住宅割合87%	WEB	△	建売分譲住宅における環境共生住宅割合100%
「シャーマゾン」における太陽光発電システム設置率は48% 2012年度に比べ455棟増の2591棟となったが、契約棟数の伸びに追いつかなかった	P.53	○	「シャーマゾン」における太陽光発電システム設置率は60%を目指す
出荷m ² 当たりのCO ₂ 排出量を ・生産にかかわるCO ₂ … 2012年度比4.0%増 ・輸送にかかわるCO ₂ … 2012年度比1.6%増	WEB	×	出荷m ² 当たりの排出量を ・生産にかかわるCO ₂ … 2013年度比1.0%削減 ・輸送にかかわるCO ₂ … 2013年度比1.0%削減 積和ウッド(株)浅井工場と「ベルバーン」製造ラインは除く
低燃費車率95.6% 低排出ガス車率95.9% 低燃費車率は目標を達成。低排出ガス車率についても、ほぼ目標に達した	WEB	○	低燃費車率96% 低排出ガス車率98%
88.0% SAの合計についてはほぼ前年と変わらないが、Sランク木材については6ポイントアップし63%となった	P.23	○	95% ただし、併せてSランク木材70%を目指す
大規模住宅地としては日本初の「FSC部分プロジェクト認証」として事前登録申請が受理された (登録番号SGSHK-PRO-011181)	-	△	-
年間植栽本数106万本。2001年の「5本の樹」計画着手後の累積は1000万本を超えた。 事業所における植栽受注推進の管理指標を徹底し、全社で共有を進めた	P.23 P.55	○	年間植栽本数100万本
建売分譲住宅すべてで「5本の樹」計画樹種を植栽 「まちなみ参観日」で販売する建売分譲住宅に加え、一般の建売分譲住宅すべてに「5本の樹」計画に基づく樹種を採用	WEB	○	-
2012年度比15.4%削減	WEB	△	2013年度比1.6%削減 「ベルバーン」製造ラインは除く
自動契約書作成システムを整備し、運用を開始した	WEB	○	グループ企業における廃棄物管理業務のシステム統合
1449kg	P.62	×	引き続き、目安として1200kg
グリーン購入率92% グリーン購入の継続推進に取り組み、購入率は昨年同様にとどまる	WEB	△	グリーン購入率 95%
鉄骨系主力商品における空気環境配慮仕様「エアキス」の採用率が 前期比2ポイントアップの77.8%となった	P.31	○	賃貸住宅「シャーマゾン」での普及を推進
夏季・冬季を中心に節電の取り組みを継続 事務所・展示場等において、電力使用量を2010年比で夏季24%削減、冬季19%削減(速報値)	P.54	○	夏季・冬季節電の取り組みを継続

【自己評価の基準について】 ○ 目標を達成 △ 達成できなかったが目標に近付いた × 目標に向けた改善ができなかった

【社会性目標と実績】

Plan

2013年度目標

主な活動テーマ		
CSR方針 と体制	CSR推進体制と浸透	集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る
		事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる
	コンプライアンス・マネジメント	各事業所のマネジメント状況を検証。各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる
		人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐむ取り組みに注力する
社会とのコミュニケーション	内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む	
お客様 のために	お客様満足の向上	2013年4月に開設する「住ムフムラボ」も活用し、サステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施
	安全・安心・健康・快適な 住まいづくり	オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足の向上を目指す
		「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい心地よい「スマートユニバーサルデザイン」の住まいづくりを推進
		オリジナル制震システム「シーカス」を積極的に推進し、暮らしの快適性向上を目指す
コミュニティの形成と地域文化の継承	「納得工房」「住まいの夢工場」などの体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・健康・快適な住まいづくりをサポートする	
従業員、 取引先様 のために	従業員とともに	賃貸住宅入居者様とのコミュニケーションを強化、さらなる満足の向上を目指す
		「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート
		「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう職務面談、評価制度の改定等の施策を実行
		女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進
	協力工事店・取引先の皆様とともに	社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を進める。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む
株主様、 地域社会 のために	株主・投資家の皆様とともに	労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する
		各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する
	住文化向上・教育支援	取引先様との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底する
		中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。中間配当18円、期末配当18円の通期36円を予定
地域社会への貢献	地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力する	
	体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大する	
	社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る	
	「積水ハウスマッチングプログラム」第8回はNPOなど22団体へ2040万円を助成予定。従業員の活動理解と参加を促進する	
	公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」を通じて、神戸市における国際的・文化的コミュニティづくりに資する活動を助成	

WEB 目標と実績の詳細はWEBに開示しています。

2013年度の活動内容

参照 ページ 評価

2014年度目標

サステナビリティレポートを題材にしたe-ラーニングを活用し、従業員一人ひとりのCSR活動の実践につなげた	P.35 P.38	○	集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る
CSRへの取り組みの各分野における目標と実績を検証し、改善活動を推進。事業所ごとのレベル差は一部改善できなかった		△	事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる
全従業員から「企業倫理要項」等を遵守する旨の誓約書を取得。「ガバナンス意識調査」を実施し、マネジメントスタイル気付きのツールとして実践的に活用		○	各事業所のマネジメント状況を検証。従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる
事業所長が全従業員に対しヒューマンリレーション研修を実施。セフハラ・パワハラ相談窓口について全事業所に担当者を配置し、スキルアップを図った	P.35 P.38	○	事業所責任者の率先垂範により、労務管理を含めた職場環境マネジメントに注力
業務の適正化を目的とした新業務進行システムの運用を開始。2013年度にコンプライアンス上の大きな問題は発生しなかった		○	内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントをさらに強化
「ゼロエミッションセンター」「サステナブル デザイン ラボラトリー」「観環居」「住ムフラボ」などでサステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施	P.08	○	引き続き多様なステークホルダーとの対話機会を創出
お客様アンケート満足度調査で満足度95.1%。「Netオーナーズクラブ きずな」は月2回のコンテンツ更新で情報の鮮度を向上。オーナー様向け情報誌の定期発行とアンケートの実施、分析、改善	P.37	○	オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足の向上を目指す
「ドクターユニバーサルデザイン授業」が「IAUDアワード2013」で未来世代部門・金賞を受賞し、他1点が銀賞を受賞。「第7回キッズデザイン賞」で優秀賞 経済産業大臣賞1点、奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞2点を含む10点が受賞し、多彩な取り組みが評価された	P.84	○	「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進
「シーカス」搭載率87%	P.63	○	引き続き積極的に提案
来場者数「納得工房」3万2854人、「住まいの夢工場」9万3116人	P.05	○	体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・健康・快適な住まいづくりをサポート
一括借上・管理室数52万6276室、入居率96.0%。入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約52万人	WEB	○	賃貸住宅入居者様とのコミュニケーションを強化、さらなる満足の向上を目指す
年2回開催の「まちなみ参観日」を戸建住宅134会場、マンション9会場で実施。「隣人祭り」を58会場で開催	P.57	○	地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート
さまざまな活動を通じ、企業理念に基づく活力あふれる組織風土の強化を図った		○	より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう多面的に取り組む
2013年、東証「なでして銘柄」に住宅・建設業界から選定。女性営業・技術職で優秀な業績を挙げながら、結婚、出産、育児を経験した従業員が徐々に増加。女性管理職も増加し、グループで65人となった(女性管理職比率1.52%)		○	いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進
職群転換制度により24人が職群転換。退職者復職登録制度を活用し、これまでに15人が復職。障がい者雇用率は1.97%となったが、法定雇用率は達成できていない	P.33 P.73	△	社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を推進。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む
育児休業取得者は226人、短時間勤務制度の利用者は351人といずれも増加。女性の育児休業取得後の復職率は93%。また研修により、働き方の変革や業務改善による生産性の向上を促進		○	労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援
業務災害47件(前年度比10件増)、通勤災害10件(1件増)		△	各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進
内部統制チェック項目の一つに下請取引に関するチェック項目を設けており、公正な取引を実施するよう注意喚起し、確認。「方針説明会」を年2回開催	P.37	○	グループ会社を含めた、「企業倫理要項」等のルールの徹底
配当性向は36.2%。通期の1株当たり配当金は15円増配し、43円。株主様を対象とした「住まいの夢工場」見学会や投資家様対象のセミナー等を実施	P.75	○	中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。中間配当25円、期末配当25円の通期50円を予定
「すまい塾」613人受講。「Webすまい塾」申込241件。産学連携と大学間の交流を図る「住空間ecoデザインコンペティション」は全国47大学から214作品の応募		○	地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力
学生の見学者数「納得工房」「住まいの夢工場」で計2189人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジー」セミナー、「Dr. フォレストからの手紙」などの環境教育プログラムを継続実施		○	体験型学習施設などを利用した教育貢献活動のさらなる充実
SELP製品をノベルティとして3万394個採用。障害者週間協賛行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催。和歌山県「企業の森」でのボランティア活動を継続実施。ボランティア延べ2269件実施、延べ2万966人参加。ボランティア休職制度をこれまでに7人が利用	P.71	○	社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実
「こども基金」「環境基金」の第8回は22団体へ2040万円を助成し、累計助成額が1億円を突破。第9回は102プログラムが応募。東日本大震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」へ1200万円を寄付(3回目)。会員数は460人増加し、3074人となった		○	「こども基金」「環境基金」の第9回助成として、27団体に2130万円を助成予定。従業員の活動理解と参加を促進
2013年度は36件の活動に1970万円を助成。これまでの助成金額累計は3億8566万円		○	2014年度は、33件の活動に1925万円を助成予定

【自己評価の基準について】 ○ 目標を達成 △ 達成できなかったが目標に近付いた × 目標に向けた改善ができなかった